



2023 技術レポート

要約版



【2024年春 新社屋完成予定】



北海道における気候変動を踏まえた

河川事業に係る取り組みについて



河川環境部 水落 彰宏

近年、地球温暖化に伴う気候変動の影響により施設の整備規模を上回る規模の降雨が頻繁に発生しており、気候変動による外力の増大に対して具体的な対策を講じる必要性が高まっている。本稿では、雨量変化に伴う見直しを踏まえた河川事業の取り組み事例について紹介する。

keyword : 気候変動 河川事業 洪水防御方式 ハード対策 ソフト対策



観光地の景観デザインにおける3Dの活用



株式会社ゆほびか 大石橋 美世



空間情報部 三浦 大

当社では、最先端のドローン及び関連機器の導入に伴い、迅速かつ容易に三次元地形データを取得できるようになった。本稿では、観光地の景観保全及び魅力向上を目的として、3DCGを用いた看板やベンチ等の施設デザイン検討と夜間照明の配置検討を行った事例を紹介する。

keyword : 3DCG UAV 景観 ドローン測量 デザイン

施工条件が厳しい現場における

橋台基礎形式の選定



水工部 柏崎 大道

橋台基礎形式は、一般に「周辺の土地利用」「現地状況」「近接構造物」「地盤条件」等の条件に応じた基礎形式及び工法が選定される。本稿では、住宅密集地における施工難易度の高い条件下の水管橋架替え設計を事例として、各施工条件に応じた基礎工法の検討手順等について、設計時の留意点を紹介する。

keyword : 水管橋 杭基礎 施工ヤード 軟弱地盤 地盤急変部

新技術を採用した跨線橋舗装補修



道路構造部 菅井 文彦



道路構造部 長谷川 直久

舗装の流動化やポットホールなどの損傷が著しい橋梁の維持補修は、常温舗装材などを用い都度対応することが多いが、管理にあたっては様々な課題がある。本稿では、通行の安全性向上と今後の維持管理の軽減を図ることを目的とし、経済的且つ確実な常温舗装材以外の舗装補修工法を提案した事例について紹介する。

keyword : 樹脂防水一体型アスファルト舗装 テープ型導水帯 流動化 ポットホール





会社概要

商号 和光技研株式会社
創立 昭和39年7月18日
資本金 4,000万円

事業所

本社 〒063-8507 札幌市西区琴似3条7丁目5番22号
TEL : 011-611-0206(代) FAX : 011-612-2092

宮の森分室 〒064-0953 札幌市中央区宮の森3条1丁目3番2号
TEL : 011-611-3869 FAX : 011-612-2093

函館営業所 〒041-0806 函館市美原4丁目36番14号
TEL : 0138-83-8272 FAX : 0138-83-8273

釧路営業所 〒085-0061 釧路市芦野3丁目1番10号
TEL : 0154-36-1271 FAX : 0154-36-1272

<https://www.wako-giken.co.jp>